

「らしさ」を見つめ直す ～あなたの「らしさ」再発見プロジェクト～

問／それいゆぷらざ(女性センター) ☎463-2697

考えて
みよう！

「家の中の仕事は誰がしていますか？」

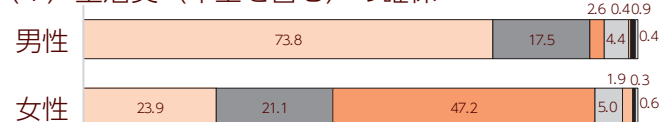
令和6年度実施 朝霞市男女平等に関する市民意識調査結果報告書より一部抜粋

←調査結果の
詳細はコチラ

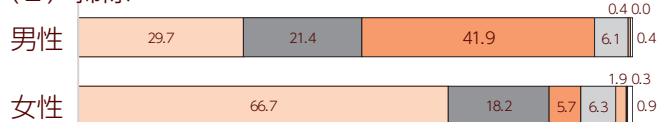
家庭での役割分担

Q あなたのご家庭では、次のことは主にどなたの担当ですか。

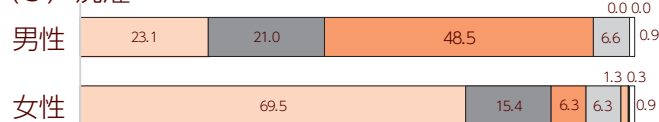
(1) 生活費（年金を含む）の確保



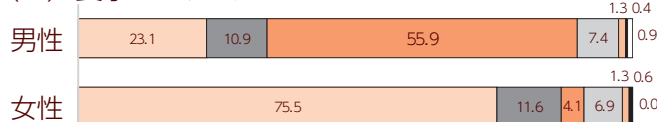
(2) 掃除



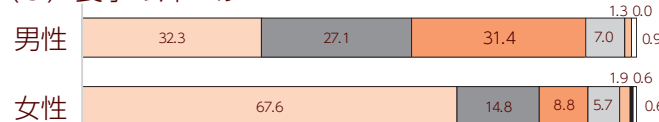
(3) 洗濯



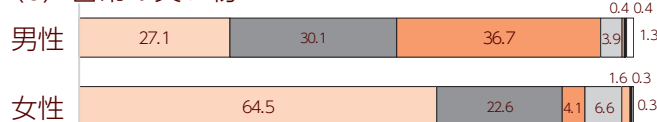
(4) 食事のしたく



(5) 食事の片づけ



(6) 日常の買い物



※小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。

主に自分
 自分と配偶者が同じくらい
 主に配偶者
 主にその他家族
 その他
 該当しない
 無回答



調査からわかること…

『生活費の確保（≡仕事等）は“**男性の役割**”であるという家庭が多い。』『一方で掃除や洗濯、食事、買い物など家事は“**女性の役割**”になっている家庭が多い。』

こうした仕事や家事だけでなく、私たちは普段、「男らしい」、「女らしい」、「親らしい」、「社会人らしい」など、さまざまな「らしさ」に囲まれて暮らしています。例えば、「男性だから仕事を優先するべき」、「女性だから家事や育児を担うべき」、「男の子だから泣かないほうがよい」、「女の子だからおとなしくするべき」などといった考え方もあります。

その「らしさ」は、誰が決めたものですか？

この機会に一度考えて見てみませんか？

こうした「〇〇らしさ」は、時として自分や周囲の人の可能性や選択肢を狭めてしまうことがあります。

一方で、「人と関わることが好き」、「ものづくりが得意」、「家族との時間を大切にしたい」、「新しいことに挑戦したい」といった思いや個性は、その人自身の「自分らしさ」と言えるかもしれません。男女共同参画が目指すのは、「男だから」「女だから」という枠にとらわれず、一人ひとりが自分らしく生きられる社会です。あなたにとっての「らしさ」とは？その「らしさ」は、自分で選んだものでしょうか。それとも、周囲から期待されてきたものでしょうか。「男らしく」「女らしく」ではなく、「自分らしく」生きるため、この機会に、あなた自身の「らしさ」について考えてみませんか。



※男女平等推進情報「そよかぜ」は、公募市民の企画・編集協力員と協働し作成しています。